≌‱…。児童・生徒一人一人の主体的な学びを加速する。



従来の授業スタイルで培われた大型提示装置への「ワイヤレス画面転送」に加え、GIGAスクール構想の実現に必要とされるネットワーク通信機能を搭載した新しい時代のマルチ OS対応ワイヤレス画面転送装置です。

TrinityVisionは、Windows10、iPad、Chromebookの3種類の GIGA端末の画面を標準機能(追加アプリなし)で大型提示装置へ のワイヤレス転送ができます。

OS毎に異なる複雑な転送方式を1台に集約することは高い技術 が必要です。TrinityVisionは、様々なネットワークとの度重な る接続検証により、安定した利用をご提供いたします。

4台のデバイスを使った4分割表示や最大8台の画面へ表示できるマルチキャストにも対応。通信距離は20メートル。GIGAスクール構想での教室の拡張にも対応できます。

非常時のリモート授業でも、教室からの授業配信を行う際、大型提示装置へのワイヤレス投影により生徒の顔を大きく映し出 すことができます。 遠隔管理ソフトウエアの「CMS」に対応。同一ネットワークにつ ながった Trinity Visionのリモート管理が行えます。災害発生時 などに校長室や職員室などから各教室に設置している電子黒板 への緊急一斉放送が可能になります。 さらに、新機能として VPN(仮想プライベートネットワーク)を

搭載。オプションの「MCNEO」を利用することで、クラウド VPNで拠点間をインターネットにつないで TrinityVisionへ リモート接続が可能になります。「CMS」との連携も可能です。

TrinityVisionが「クラウド VPN」に対応したことにより、校務 システムへの VPN接続ができるようになり、自宅でのリモート ワークを実現させることができます。教員の働き方改革に役立 てることも可能です。



① 3OS デバイス対応	② 4画面 マルチビュー	③ 4K 表示	④ 通信距離 20メートル
12 本体 2 年保証 設定サポート	TrinityVi	5 WPA2/WPA3 対応	
① 有線 LAN (1000Base-T)	120	⑥ OpenVPN クライアント	
10 タッチバック アプリ	⑨ 8 台マルチキャ ストアプリ	8 Wi-Fi アクセス ポイント	⑦ 遠隔管理 (MCNEO)

- 3OS(Windows、iPad、Chromebook)全てのデバイスが専用アプリなしで画面転送できる
 4台のデバイスの画面を1画面に4分割表示できる
 4K出力に対応、4Kテレビにフル画面表示できる
 20mの通信距離で教室のどこからでも画面転送できる
- ⑤ 最新の Wi-Fiセキュリティ規格、WPA2/WPA3に対応
- ⑥ OpenVPN(仮想プライベートネットワーク)に対応
 ⑦ クラウドで機器の管理ができる遠隔管理システム
- 「MCNEO(エムシーネオ)」に対応(オプション)
- ⑧ Wi-Fi中継機として利用できる Wi-Fi AP機能内蔵
 ⑨ ワイヤレスマルチキャストで、最大8台の
- TrinityVisionをつないだ8画面に同時投影が可能 (専用アプリ使用)
- 10 Windowsタッチバックが使用可能(専用アプリ使用)
- PoE給電可能な1000Base-T有線LANポートを搭載
 安心の2年間の本体保証

教室のどこからでも瞬時に自身のタブレット画面を表示できます。



※AirPlay、(クローム)キャストを行う際は、Wi-Fiアクセスポイントのプライバシーセパレーター機能は OFFにしてください。



■GIGAスクール教室の拡張にも対応

GIGAスクール構想では、新しい時代の1人1台端末の学びのスタイル に対応させるため、机の大型化や教室の拡張といった整備が進みます。 そのため、通信距離の長い機器が必要になります。

■個別学習、グループ学習、一斉学習の組み換えに即応 GIGAタブレットを使った表現カやプレゼンテーションカを養う授業 では、教室内の移動が欠かせません。教室内のどこからでも、瞬時に 自身のタブレット画面を表示して発表することは児童・生徒の主体的 学びを加速させます。

■長期間の利用に適した機器を選定

1日8時間の利用を想定している家庭用の機器は、価格を抑えるため、 耐久性の低い部品を使う傾向にあり、数年で通信距離が半分以下にな る機器も存在します。一方、TrinityVisionの通信距離は20メートル。 24時間365日の利用を想定した業務用で耐久性に優れた機器です。

※教室の無線環境によっては有効距離が短くなる場合があります。

遠隔管理システム:CMS(セントラルマネージメントシステム) 10 台毎に 1 ライセンスを無料でお使いいただけます。

CMS とは、"Central Management System(セントラルマネージメントシステム)"の略で、CMS をインストールした1台の管理 PC と同一ネットワーク(同一セグメント)につながる TrinityVision の状態監視や設定変更などを遠隔から行うことができるアプリケー ションソフトウエアです。さらに災害発生時の緊急指示の動画や画像を一斉配信できる機能も搭載しています。 CMS を利用することで、不具合発生時、設置場所に向かう前に TrinityVision の状態確認ができますので、メンテナンスが容易にな ります。

<学校内での CMS の運用例>

■同一ネットワーク内 ■TrinityVision+CMS:学校内での導入 ■遠隔管理:監視、設定、利用ログの取得

校内に設置した CMS 管理 PC の画面 (ダッシュボード) には、 TrinityVision の利用状態が一覧で表示されます。ダッシュ ボードは、学年ごとのグループに分けた設定もできます。 利用中の TrinityVision は、ダッシュボードのステータスバー に色分けされたランプで表示されます。



<CMS を使った緊急放送>

■同一ネットワーク内
 ■TrinityVision+CMS:学校内での導入
 ■緊急放送

近年、災害発生時の情報伝達手段の重要性が高まっています。授業 中、緊急事態が発生した際には、教室にある TrinityVision へ注意 喚起を行う画像や音声付き動画ファイルを一斉に配信することがで きます。緊急時の混乱した状況では音声による放送が聞き取りにく い場合も予想されます。各教室の大型 TV に緊急事態の警報画面や 避難行動の動画を一斉配信することで、学校内の児童・生徒や教員 への視覚による注意喚起と避難誘導など防災に役立ちます。

クラウド管理システム: MCNEO(エムシーネオ) ** (新料オプション

エムシーネオとは、"Manage Cloud Network Endpoint with OpenVPN"の略で、インターネットにつないだネットワーク機器 (Network Endpoint) をクラウド VPN(クラウドベースの仮想プライベートネットワーク)で接続し、機器設定などのモニタリングを遠隔にある管理センターからインター ネット経由で行うクラウド型管理システムです。

同一ネットワークの外にある TrinityVision は、MCNEO(エムシーネオ)を利用することで、インターネット経由で CMS の利用もできます。教育委員 会に設置した CMS 管理サーバーから、各学校の教室に設置した TrinityVision へ緊急時の一斉放送などが可能になります。

<教育委員会や教育センターからの CMS 運用例>

■インターネット拠点間
 ■TrinityVision+CMS+MCNEO(VPN):教育委員会での導入
 ■遠隔管理:監視、設定、利用ログの取得

教育委員会や学習センターと各学校とが専用の同一ネットワーク でつないでいる場合には、CMS はご利用できます。一方、同一 ネットワーク外にある学校とインターネットでつないでいる場 合、公衆回線を使っているため、CMS の利用はできません。イ ンターネット CMS を利用する場合は、オプションの MCNEO(エ ムシーネオ)を使うことで、VPN でつないだ同一ネットワーク を作り出し、CMS を利用することが可能になります。緊急時の 一斉配信も可能になります。





CMS を使った緊急放送の開始画面

Ø

【公立高等学校·U先生】

■ワイヤレスを使った安全な机間指導を実施

本校では細かく段階的に整備されたことで、Windows、iOS、 ChromeOS のデバイスが混在するため、どのデバイスでも教室 の大型提示装置に画面転送できる装置を探していました。以前 は、教室内に長いケーブルを這わせて有線接続していましたが、 ケーブルの断線や転倒事故が多発したことによりワイヤレスの TrinityVision を導入しました。導入後は、いつでも机間指導が スムーズにできるようになり、生徒が今まで以上に授業に集中 できる授業環境を作ることができました。

【公立小学校・〇先生】

■無線が途切れない授業を実践

専用アプリが必要な画面転送機器の導入を検討していましたが、 操作手順を覚えたり、接続できない時の対応が難しく教員側に 拒否反応が起こりました。専用アプリを使わない TrinityVision は、機器の標準機能が使えるので、導入もスムーズでした。本 校では HDMI ケーブルでつないだ教員端末へ児童・牛徒の全員 の画面共有する仕組みは既に備わっていましたが、 TrinityVision により、ワイヤレス化が実現。

教室内を自由に動き回っても無線が途切れないことは大変魅力 的です。

HDMI

Ethernet(PoE対応)推奨

【TrinityVision本体の接続方法】

- ① 5V電源アダプターを本体のDC-INに接続します。
- ② HDMIケーブルを本体のHDMIポートとテレビモニターのHDMIポート それぞれに接続します。
- ③ 電源ボタンを押して、本体を起動します。

【TrinityVision 本体の寸法】



【TrinityVision 設置例】

ACアダプタ

● 取付板に、結束バンド又はネジで固定してください。 ※取付板は、設置環境によって異なりますので、別途ご相談ください。

⊽ t ≜ D =

۵





長さ 5mm 太さ 4mm

【仕様】		• VPN	: OpenVPN
・対応 OS	: Windows 10, MacOS 10.12+, iOS 10+, ChromeOS,	・電源 / 消費電力	: DC 5V/2A /10W(スタンバイ時 5W)
	AndroidOS 5.0+	・画面転送時間	:約 0.1 秒(Wi-Fi 環境によって異なる場合があります。)
· CPU	:最大1Ghz	・セキュリティ	: WPA2/WPA3、WPA2 Wi-Fi Enterprise 対応
• Wi-Fi	:802.11. a/b/g/n/ac(2T2R)、最大 866Mbps(5Ghz)	・解像度	: 3840x2160@30Hz(4K)、1920x1080@60Hz(フル HD)
・無線有効距離	: 最大約 20 メートル	・インターフェイス	: HDMI1.4 / USB type-A / Ethernet
・動画圧縮規	: H.264	・動作温度 / 保存温度	: 0~40°C / -20~70°C
・コンテンツ保護	:HDCP2.2(ミラキャスト使用時)	・寸法	: 本体 80x120x25mm(縦 x 横 x 高さ)、アンテナ長さ 123mm
 Ethernet 	:1000Base-T、PoE をサポート	・同梱物	:本体、USB-AC アダプター、保証書、USB- 電源ケーブル (1m)、
・オーディオ形式	: PCM、AAC		HDMI ケーブル (1m)





atrix

communications™









@Matrixcom1010

*(株)マトリックスコミュニケーションズは、一般社団法人日本教育情報化振興会(正会員)、ICT CONNECT 21(会員)の団体に参加しています。

- *製品の仕様は予告なく変更される場合があります。最新の仕様については弊社営業までお問い合わせください。
- *TrinitvVision®は、(株)マトリックスコミュニケーションズの登録商標です。

*記載の会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。